

パブリック・コメントの実施結果について

1 パブリック・コメントの実施概要

- (1) 実施した政策等 第3期「水の都おおがき」創生総合戦略（素案）
- (2) 実施期間 令和6年1月4日（木）～1月31日（水）
- (3) 実施方法 「大垣市パブリック・コメント手続要綱」によるもの
- (4) 意見提出者数 2人
- (5) 意見提出件数 2件（提案・意見：2件）

2 第3期「水の都おおがき」創生総合戦略に係る意見の概要等について

No.	意見の概要	市の考え方（対応）
1	人口減少や少子高齢化が進行する中であっても、デジタル技術を有効活用することで、これまでと同等以上の豊かな生活を送ることができると考えている。 子どもから高齢者まで、全ての世代が大垣市に住んでいて幸せだと思えるよう、デジタル技術を積極的に活用することを期待する。	P50「基本目標2-基本施策(1)スマートシティ大垣の実現」に記載がありますように、デジタル化による市民サービスの向上や、安全・安心なデジタル環境の整備により、誰もが利便性の高い暮らしを実感できる、スマートシティ^{※1}大垣の実現を目指します。 とりわけ、P49「基本目標1-基本施策(3)-③デジタル人材の育成」やP50「基本目標2-基本施策(1)-②安全・安心なデジタル環境の整備」、P54「基本目標2-基本施策(3)-③商業の活性化」に記載がありますように、デジタルひろば等を活用した、子どもたちがデジタルに気軽に触れ楽しめるような環境づくりや、高齢の方であっても、今後導入予定のデジタル地域通貨など、デジタル技術の恩恵を享受できるよう、デジタル機器の活用支援等に取り組んで参ります。

※1 デジタル技術の利活用により、社会的課題の解決を図るとともに、快適性や利便性を含めた新たな価値を創出する場として定義される

No.	意見の概要	市の考え方（対応）
2	若い世代の定住意向が他の世代に比べて低いことに危機感を覚える。 若者が住み続けたいと思えるような魅力あるまちづくりを進めていただきたい。	デジタル技術の積極活用に取り組むとともに、「水の都おおがき」が感じられるような空間の形成や、大垣公園とその周辺地域の再整備、大垣西インターチェンジ周辺の土地や学校跡地などの活用を推進し、人が集う場の創出を図ることで、若者にとっても魅力あるまちづくりを進めて参ります。